

草の根通信

号外

第21回高知サミット大会

速報



ホイットフィールド船長のご子孫、5代目のポプさんに、土佐清水の子ども達から、万次郎を救ってくれたお礼の大漁旗を贈呈

第21回日米草の根交流サミット・高知大会は、2011年6月28日から7月4日まで、土佐のくに、高知県内各地で開催されました。3月11日の東日本大震災以降、原発事故の収束もみえないなかアメリカからは95名もの方が駆けつけてくださいました。念願だったジョン万次郎生誕の地である土佐清水市内でのオープニングを皮切りに、高知の方々のもてなしの心に感動いっぱいの思い出に残る大会となりました。

大会参加者数： アメリカからの参加者：約95名

参加者総数：2295名（日本からの参加者、現地のホストファミリー、ボランティア、ゲスト等）

- イベント別参加者：
- 1) オープニング・セレモニー参加者：700名
 - 2) オープニング・レセプション参加者：200名
 - 3) ローカルセッション（ホームステイ）プログラム協力者：950名
 - 4) クロージング・セレモニー参加者：300名
 - 5) サミット同窓会参加者：50名

大会スケジュール（旅行日程）

6/28(火)	参加者・日本到着	<高知新阪急ホテル>
6/29(水)	オープニング・セレモニーとオープニング・レセプション	<足摺パシフィックホテル花椿、足摺国際ホテル>
6/30(木)	地域分科会へ出発	<ホームステイ>
7/1(金) ~2(土)	地域分科会プログラム	<ホームステイ>
7/3(日)	各地域から牧野植物園へ移動 クロージング・セレモニー	<高知新阪急ホテル>
7/4(月)	成田、関西空港へ向けて出発 またはオプション・プログラムへ参加	

草の根交流サミット同窓会 in 高知大会（6月28日）

サミット大会開催前日の晩には、過去のアメリカでの大会の参加者や、草の根交流に関心のある方々が集まり、ゲストをお迎えして、盛大に交流が図られました。会場は、「庄や」高知駅前店。CIEをご支援いただいている株式会社 大庄様のご協力を得たものでした。



ご講話いただいた高知県観光コンベンション協会会長岡内啓明会長（左）といっしょに



ジョン万次郎について語る、平野貞夫評議員



中浜のジョン万次郎生家で説明を受ける同窓会メンバー

桂浜散策、土佐清水市までのバスの旅（6月29日）

高知到着翌日の6月29日には、4台のバスに分かれ米国からの参加者、同窓会参加者、ボランティアが一路、オープニング・セレモニーが開かれる、ジョン万次郎の生誕地、土佐清水を目指しました。
途中、桂浜散策を楽しみ、バスから見える海、山、川の高知の豊かな自然に歓声を上げながら交流を深めました。



桂浜をバックにホイットフィールドご夫妻と



大好評！“かつおのタキ定食”



龍馬像とともに

オープニング・セレモニー in 土佐清水（6月29日）

オープニング・セレモニーは、渭南病院の有志によるあしずり踊りを皮切りに700名の来場者を迎え、土佐清水市民文化会館で行われました。会場にはフェアヘイブンから土佐清水市に贈られたキルトパッチワークが展示され、佐藤久一郎さん（宮城大会副実行委員長）による「東日本大震災被災地からのメッセージ」の後、宮城県のみなさんと託されました。



キルトパッチワーク展



ドキドキの受付風景



帆船の展示



中浜獅子舞保存会



お茶のコーナー



フェアヘイブンから宮城のみなさんへ



足摺おどり



紙芝居 DVD・ジョン万次郎物語



足摺岬小学校の児童のみなさん

足摺岬小学校児童による舟歌と太鼓、中浜獅子舞保存会による獅子舞が披露され、土佐清水の子もたちからホイットフィールド船長のご子孫に、救出のお礼の記念品である大漁旗が手渡されました。恒例の地球儀交換の後に龍馬伝承会による紙芝居 DVD「ジョン万次郎物語」英語翻訳版が上映されました。



渡邊 泰造
CIE 理事長



杉村 章夫
土佐清水市長



ビル・ファレル
CIE-US 理事



マシュー・ペリー
ペリー提督ご子孫



左から中村 文、中濱 京、中村 明日香
ジョン万次郎ご子孫



ポブさんから明日香さんへ地球儀の交換

オープニング・レセプション in 足摺パシフィックホテル花椿（6月29日）



土佐清水商工会議所会頭の音頭による鏡開き



“かわいい”ジョン万次郎さんも大人気！



ルーニーさんの美声

会場を足摺に移して、オープニング・レセプションが賑やかに催されました。土佐清水青年会議所のみなさんによる「たこやき」やウェルカムジョン万の会特製の「万次郎がぼちのスープ」に「創作寿司」、そして「活作り」と目移りしてしまうごちそうが所狭しと並べられ、唄あり、踊りありの熱気あふれる時間となりました。

ジョン万次郎さん現わる！→



★参加者の声★

- 足摺おどりは幻想的で美しく、土佐清水の小学生の一生懸命な唄と踊りはとても素晴らしいものでした。（Mさん・男性）
- ジョン万次郎、ホイットフィールド船長、そしてペリー提督のご子孫がこの土佐清水の地を踏まれたことに歴史のつながりを感じました。（Kさん・女性）



しばてん踊りレッスン



手づくりのお料理が盛りだくさん

地域分科会ーホームステイ・プログラム (6月30日~7月3日)

6月30日午前、参加者は足摺を後にして地域分科会に出発。13の地域の分科会に分かれ、ホームステイをしながら現地の方々と交流を深めました。(カッコの中はホームステイした参加者数です)



1. 奈半利町(6)



2. 安芸市(5)



3. 香美市(3)



4. 香南市(5)



5. 南国市(8)



6. 高知市 A(4)



7. 高知市 B(6)



8. 高知市 C(6)



9,10 越知町・佐川町(5)



11. 中土佐町・久礼(3)



12. 中土佐町・大野見(5)



13. 土佐清水市(16)



14. 高知市 D(12)

★参加者の声★

- 分科会のみなさんが普段の暮らしぶりや町について、私たちに惜しみなく伝えようとしてくださる姿にみなさんがどれだけ町に誇りをもっているかを感じ取ることができました。今後の大会のオプションツアーには、ぜひ高知を入れてください。(Eさん・女性)
- 今までに訪れた日本のなかで、高知が私のいちばんのお気に入りになりました。これからもホストファミリーや分科会のみなさんと連絡をとり、妻と必ず戻ってきて高知の隅々を訪ねたいと思います。(Gさん・男性)
- 高知大会はすべてが素晴らしい経験でした。私のホストファミリーがなんといっでも一番です！信じられないくらい親身にそしてあたたかく迎えてもらいました。家の畑で採れた野菜を使い、心のこもった手料理で日本滞在のなかで最も楽しい時間を過ごしました。この大会にかかわってくれたすべての皆さんに感謝します。(Eさん・女性)

クロージング・セレモニー (7月3日)

地域分科会終了日、7月3日午後3時から五台山にある県立牧野植物園にホストファミリーやキーパーソンの方々と交えてクロージング・セレモニーを開催しました。高知大会実行委員会名誉会長の尾崎正直 高知県知事を迎え、分科会をふりかえった後には、高知とカリフォルニアでスズキ・メソッド音楽教室に通う子どもたちによる演奏がありました。そのなかにはジョン万次郎が初めて日本に伝えた「ABCの歌」(キラキラ星)も演奏されました。最後に、第22回サミット開催地のダラス・フォートワースからの呼びかけのあとは、よさこいおもてなし隊「いちむじん」による「よさこいワークショップ」が行われました。また、この日の夜の「血鉢料理」のオプション・ディナーには60名が参加。美味しい料理とよさこい踊り、分科会の報告でおいに盛り上がりました。



スズキ・メソッド音楽教室の日米の生徒たち



よさこいおもてなし隊「いちむじん」

来年の夏にダラス・フォートワースで会いましょう！



オプションの「血鉢料理」のディナーでのよさこい踊り



尾崎正直
高知県知事



北代淳二
CIE 評議員



ピーター・グリーリ
CIE-US 理事



橋井昭六
高知サミット大会
実行委員会会長

ポスト・サミット・オプション・プログラム (7月4日～)

大会終了翌日の7月4日からは、4つのオプション・プログラムを開催。東京、大阪でのフリープランのほか、京都ホームステイプラン、内子町～道後温泉～宮島～広島平和記念公園と京都を訪問するツアーで、さらに交流を深めました。



写真の合図は「はいコ・ウ・チ！」 京都のホストファミリーといっしょに



広島では過去の大会参加者と再会！



広島のお好み村「さらしな」にて

★参加者の声★

- 高知大会での経験と出会った人たちは、いつも心の中の宝物です。(Gさん・女性)
- サミットには他では味わえない強烈で忘れられない経験がいっぱいです(Gさん・男性)



やっぱりラーメンはおいしいですね



高知大会実行委員会の皆さん

実行委員会委員： 尾崎正直（県知事）、橋井昭六（県国際交流協会代表理事）、田中裕美（札幌市国際交流協会会長）、岡崎誠也（高知県市長会長）、吉岡珍正（高知県町村会会長）、岡内啓明（県観光交流協会会長）、西山昌男（県商工会議所連合会会長）、浜田教夫（県商工会連合会会長）、森本征彦（国際観光交流協会 2670 地区高知第 2 分区ガバナー補佐）、和田信介（ライオンズクラブ YE 国際関係委員 7R 担当）、楠瀬健之（日本青年会議所四国地区高知ブロック協議会会長）、内田洋子（NPO 法人高知市民会議理事長）、八木雅昭（NPO 法人高知県西部 NPO 支援ネットワーク理事長）、弘間善郎（高知 SGG 善意通訳クラブ 会長）、福井朋（高知・ルズ姉妹都市委員会会長）、松永健二（NPO 法人人と地域の研究所理事長）、内田泰史（新老人の会四国支部世話人代表）、廣田勝（土佐清水市姉妹都市友好協会会長）、永国淳哉（高知市国際交流協会会長）、松井武次（国際観光交流協会代表）、大崎富夫（高知県文化生活部長）



財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター
John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083
東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアクス麹町 602
TEL 03-3511-7171 FAX 03-3511-7175
URL: <http://www.manjiro.or.jp>